

各位

平成13年11月1日

T D K 株式会社  
(コード番号 6762)  
(東証・大証 各市場第一部)  
(問い合わせ先)  
広報部長 片山 實規  
TEL 03(5201)7102

## 平成14年3月期 通期連結・単独業績見通しの修正に関するお知らせ

平成13年8月7日の決算発表時に公表いたしました平成14年3月期(平成13年4月1日～平成14年3月31日)の通期連結業績見通しと、平成13年5月10日の決算発表時に公表いたしました平成14年3月期の通期単独業績見通しを下記の通り修正いたします。

### 記

#### 1. 平成14年3月期通期連結業績見通しの修正(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

連結	単位	売上高	税引前利益	当期純利益
前回発表の見通し(A)	百万円	645,000	31,000	21,000
今回修正の見通し(B)	百万円	560,000	-2,600	0
増減額 (B-A)	百万円	-85,000	-33,600	-21,000
増減率	%	-13.2%	-	-

#### 2. 平成14年3月期通期単独業績見通しの修正(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

単独	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表の見通し(A)	百万円	385,000	28,500	17,000
今回修正の見通し(B)	百万円	317,000	12,900	8,200
増減額 (B-A)	百万円	-68,000	-15,600	-8,800
増減率	%	-17.7%	-54.7%	-51.8%

### 3 . 修正の理由

米国景気の急激な減速に伴う影響が世界的に広がり、PCや携帯電話などIT関連の需要低迷が期初の予想以上に長期化しております。また、これらの製品に対する市場での需要見通しが実際には過大であったことで、裾野の電子部品の在庫が乗数的過剰となり、調整期間が長くなっております。この影響を受け、電子素材部品部門の需要が大幅に落ち込み、加えて価格下落も進行したためです。

なお、下期の前提となる対米ドル平均市場円レートは、前回120円で見えておりましたが、今回も同様に120円で想定しております。

#### 【見通しに関する留意事項】

この資料に記載されている平成14年3月期の業績見通しは、当社及び当社グループ会社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づく将来の予想であり、実際の業績は、様々な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。従いまして、これらの業績見通しのみにより判断をされることは控えるようお願いいたします。

当社の主たる事業活動領域であるエレクトロニクス・ビジネス市場は変動性が激しく、また、当社は国内だけでなく海外においてもビジネスを行っているため、技術、需要、価格、競争状況、経済環境の変化、為替レートの変動、その他の多くの要因が業績に影響を与えることがあります。

以上